

平成28年度9月補正予算(案)の要点

9月補正予算(案)の基本的考え方

- ◎ マニフェスト等の実現に向けて早急に必要となる経費を計上
- ◎ 熊本地震による被害に対する災害救助等に要する経費を計上
- ◎ 梅雨期の豪雨による被害に対する災害復旧事業等に要する経費を計上
- ◎ 国の内示等に対応した経費を計上



補正額: 2, 280百万円

9月現計: 826, 487百万円

※ 対前年度9月現計比 +0.7%

平成28年度9月補正予算(案)の規模等

1 予算規模

(単位:百万円, %)

		H28 (A)	H27 (B)	(A)/(B)
一般会計 予算規模	当初予算額	822,457	814,313	+ 1.0
	9月補正額	2,280	6,303	▲ 63.8
	9月現計額	826,487	820,616	+ 0.7

2 主な歳入の状況

普通建設事業や災害復旧事業等の財源として、国庫支出金、県債等を充当したほか、地方交付税で対応

地方交付税	457百万円
国庫支出金	1,328百万円
県 債	118百万円
そ の 他	377百万円
合 計	2,280百万円

平成28年度9月補正予算(案)の主な内容

● マニフェスト等の実現に向けた取組 18百万円

マニフェスト等の実現に向けて、早急に必要となる事業を実施

- 「広聴事務(知事と語ろう車座対話)事業」(新規)
「聞こう! 語ろう! 対話の県政」を目指し、「知事と語ろう車座対話」を開催
- 「再生可能エネルギー施設導入促進事業」(新規)
発電に係る知見や導入上の課題解決等についての説明会・研修会を開催
- 「かごしま子ども調査事業」(新規)
子どもの生活状況等の実態を把握するため、アンケート調査を実施

● 熊本地震に係る支援活動 188百万円

熊本地震の支援活動として、職員の派遣や災害救助法に基づく救助活動を実施

● 離島航路補助事業 197百万円

十島村村営船「フェリーとしま」の代替船の建造に要する費用を助成

● TPP対策事業 1,160百万円

国のTPP対策として、追加内示等のあった事業に対応

- 「産地パワーアップ事業」
意欲のある農業者等が行う高収益作物・栽培体系への転換を支援
- 「畜産クラスター事業」
地域の収益性向上等のための畜舎や堆肥舎等の整備を支援
- 「大隅加工技術研究センター試験研究事業」
農畜産物の高付加価値化を図るための研究・開発を実施